

## 令和元年度日本NGO連携無償資金協力署名式典

特定非営利活動法人 アジアの誇り・プレアビヒア日本協会  
「プレアビヒア・エコビレッジ地区農業強化の溜池建設事業」

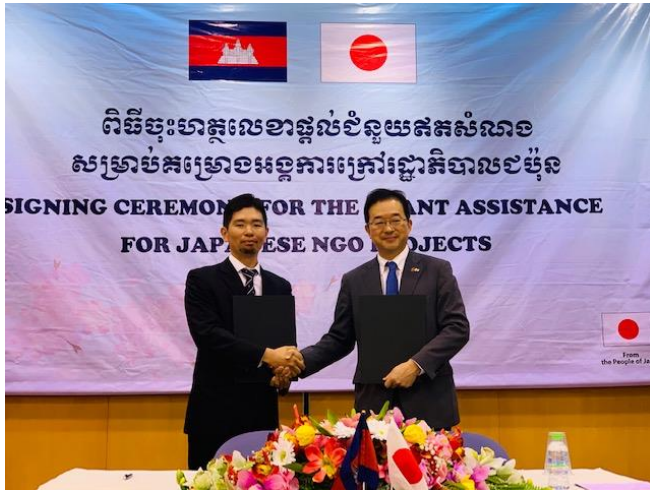
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
「プレアビヒア州における母子保健・栄養・水衛生改善事業（第1年次）」

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち  
「カンボジア、パイリン州におけるコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）  
の質の向上を通じた青少年の就労支援事業（第1年次）」

令和2年2月25日（火）、令和元年度日本NGO連携無償資金協力に係る署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では、三上正裕特命全権大使が（特活）アジアの誇り・プレアビヒア日本協会の森田徳忠理事長との間で「プレアビヒア・エコビレッジ地区農業強化の溜池建設事業」（供与限度額85,019米ドル）について、（特活）ワールド・ビジョン・ジャパンの松岡拓也現地事業責任者との間で「プレアビヒア州における母子保健・栄養・水衛生改善事業（第1年次）」（供与限度額452,427米ドル）について、（特活）国境なき子どもたちのスレイ・サカン現地事業統括との間で「カンボジア、パイリン州におけるコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）の質の向上を通じた青少年の就労支援事業（第1年次）」（供与限度額353,025米ドル）について、それぞれの贈与契約書に署名を行いました。

（特活）アジアの誇り・プレアビヒア日本協会は、プレアビヒア州の文化遺産保護の拠点として開拓が進められているエコビレッジ地区において、水不足により農作物の生産が困難な乾季における農業生産を可能にするため、溜池と配水施設の建設を行います。また、農業技術の移転や水管理組合の組織化も併せて支援することで、地域全体の水資源不足を解消し、乾季における有機野菜やハーブといった農業生産の拡大を図り、地域住民の所得向上を推進していくことが期待されます。





(特活) ワールド・ビジョン・ジャパンは、プリアビヒア州4郡において、保健従事者や地域住民への母子保健・栄養・水衛生に関する啓発教育、コミュニティ内における給水システムの整備を行います。保健行政や地域のボランティアと協働し、乳幼児の栄養と発達、母子保健等についての正しい知識の普及及び水管理委員会の設立、能力強化研修を行います。これらの活動により正しい保健知識が普及し、地域の母子保健状況が改善されるとともに、安全な水へのアクセス向上が見込まれます。

(特活) 国境なき子どもたちは、カンボジアの中でも若者の中途退学率が高い州の一つであり、将来につながる教育や技術の習得の機会が失われているパイリン州で、州教育局及び運営委員会が運営を行うコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）の運営支援、職業訓練内容の見直し等の環境整備を通じた若者への就労支援を行います。本事業を通じて、若者たちが将来につながる教育を受け技術を身に付けることで、安定した就労状況と生活を送れることが期待されます。



同式典では、三上大使がスピーチを行い、今回の支援が対象地域の人々に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好促進につながることを願うと述べました。続いて（特活）アジアの誇り・プリアビヒア日本協会の森田徳忠理事長と（特活）ワールド・ビジョン・ジャパンの松岡拓也現地事業責任者と（特活）国境なき子どもたちのスレイ・サカン現地事業統括が、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、着実に事業を推進していくことを約束しました。

令和元年度 日本NGO連携無償資金協力  
贈与契約署名式典 三上大使スピーチ  
2020年02月25日(火) 於：日本国大使館多目的ホール

特定非営利活動法人 アジアの誇り・プレアビヒア日本協会  
「プレアビヒア・エコビレッジ地区農業強化の溜池建設事業」

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン (WVJ)  
「プレアビヒア州における母子保健・栄養・水衛生改善事業 (第1年次)」

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK)  
「カンボジア、パイリン州におけるコミュニティ・ラーニング・センター (CLC) の質の向上を通じた青少年の就労支援事業 (第1年次)」

- 国民議会議員  
スオス・ヤラー様
- 特定非営利活動法人 アジアの誇り・プレアビヒア日本協会  
理事長 森田 徳忠様
- 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
カンボジア現地事業責任者 松岡 拓也様
- 特定非営利活動法人 国境なき子どもたち  
現地事業統括 スレイ・サカン様
- 御列席の皆様

本日、日本NGO連携無償資金協力案件に係る署名式典を開催できることを大変嬉しく思います。

日本NGO連携無償資金協力は、日本政府が日本の国際協力NGOに対して、開発途上国・地域で実施する経済社会開発事業を支援する制度として2002年より始められました。カンボジアでは、2002年から現在まで120を超えるプロジェクトを支援してまいりました。それぞれのプロジェクトが、カンボジアの方々の生活の質の向上へ貢献されていっ

本日署名された事業についてご紹介致します。

はじめに、アジアの誇り・プレアビヒア日本協会が実施する事業に対しては、今回、日本政府から約8万5千ドルを供与いたします。同団体が活動するプレアビヒア州は、カンボジアの中でも貧困率が高い州の一つであり、貧困対策が重要な課題です。同団体は、2009

年に設立以降、世界遺産となったプレアビヒア遺跡を新たな平和の象徴にするという目標のもと、遺跡周辺における植林活動や、エコビレッジと呼ばれる新たなコミュニティの開発支援に尽力されています。案件対象地であるエコビレッジは、文化遺産保護の拠点として開拓されましたが、乾季は水不足のため農作物の生産が非常に困難となっています。本事業では、溜池と配水施設の建設と併せ、農業技術の移転や水管理組合の組織化を支援することで地域全体の水資源不足を解消し、乾季における有機野菜やハーブといった農業生産の拡大を図り、地域住民の所得向上を推進していくことが期待されます。

次に、ワールド・ビジョン・ジャパンが実施する事業に対しては、今回、日本政府より約45万米ドルを供与いたします。同団体はこれまでタケオ州4郡において母子保健サービスの質の向上及び雨水タンクやトイレ等の水関連施設を建設され、保健職員と村の保健ボランティアの信頼関係構築に貢献されています。本年度からの事業では、プレアビヒア州4郡において、保健従事者や地域住民への母子保健・栄養・水衛生に関する啓発教育、コミュニティ内における給水システムの整備を行います。これにより正しい保健知識が普及し、地域の母子保健状況が改善されるとともに、安全な水へのアクセスが向上されることを願っております。

最後に、国境なき子どもたちが実施する事業に対しては、今回、日本政府から約35万米ドルを供与いたします。同団体は2000年よりカンボジアでの事業を開始され、多くのストリートチルドレンや貧困層家庭の子どもに対しての支援を行われてきました。これまでのご活動に対して敬意を表します。同団体が活動するパイリン州は、カンボジアの中でも若者の中途退学率が高い州の一つであり、将来につながる教育や技術の習得の機会が失われている状況となっています。本事業では、同州教育局及び運営委員会が運営を行うコミュニティ・ラーニング・センター（CLC）の運営支援、職業訓練内容の見直し等の環境整備を通じた若者への就労支援を行われます。本事業を通じて、若者たちが将来につながる教育や技術を身に着け、安定した就労状況と生活を送れることを期待します。

最後になりますが、近年、発展目覚しいカンボジアではありますが、貧困対策、医療、教育を含む社会開発など、人々の生活向上のために取り組むべき課題は山積していると思います。日本としては、今後とも、国際協力NGOの皆さまと連携し、そのような課題解決のお手伝いが出来ればと考えています。

本日御出席の皆様の御健康と御多幸、両国の友好のますますの発展を祈念致します。

ありがとうございました。



EMBASSY OF JAPAN  
IN THE KINGDOM OF CAMBODIA

## PRESS RELEASE

No.16 PR-20/EoJ

25 February 2020

**Japan Provides US\$890,471**  
**for Constructing Irrigation Systems,**  
**Maternal and Child Health and WASH,**  
**and Capacity Building of Youth**

The Government of Japan has agreed to provide US\$890,471 in total for three recipient organizations under the framework, *the Grant Assistance for Japanese NGO Projects*. The Grant Contract has signed today between H.E. Mr. MIKAMI Masahiro, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to the Kingdom of Cambodia, and the representatives of the three recipients respectively, to carry out the following projects:

1. ‘Reservoir construction project for agriculture enhancement in Preah Vihear – Eco Village Area’ (US\$85,019)

Recipient: Pride of Asia Preah Vihear Association Japan

In this project, Pride of Asia Preah Vihear Association Japan will support the construction of reservoirs and distributing water facilities in Eco Village, Preah Vihear province. Farmers in this area will benefit from increasing agricultural production especially in dry season and learning agricultural technology as well as facility management for sustainable regional development.

2. ‘Integrated Health, Nutrition and WASH (Water, Sanitation and Hygiene) Project in Preah Vihear (Year 1)’(US\$452,427)

Recipient: World Vision Japan

In this project, the organization will provide training and health education for health workers and local communities in order to improve maternal and child health environment in 4 districts in Preah Vihear province. The beneficiaries will be able to change their eating habits with knowledge and to have an access to safe water.

3. ‘ Capacity building of Youth in Pailin, Cambodia: Reinforcement of Community Learning Center (CLC) (Year 1) ’ (US\$353,025)

Recipient: Kokkyo naki Kodomotachi

In this project, the organization will support youth, especially those who are in situations of having unstable jobs, lacking of life skills, and dropping out of schools. Through providing enhanced vocational training contents and conditions of community learning centers to the youth, they will gain education or skills for creating a foundation of better life in the future.

*The Grant Assistance for Japanese NGO Projects* started in Cambodia in 2002 to support activities by Japanese NGOs to help Cambodia's reconstruction and development efforts at the grassroots level. Since 2002, the Government of Japan has provided over US\$39 million for 125 projects, mainly in the field of primary education, health, agriculture and mine clearance in Cambodia.

---

*Embassy of Japan in the Kingdom of Cambodia*

*Tel: 023-217-161, fax: 023-214-330*

*Email: [eco.jpn@pp.mofa.go.jp](mailto:eco.jpn@pp.mofa.go.jp)*

*Website: <http://www.kh.emb-japan.go.jp>*